

3. 「里浜づくり」の実践に向けて

3.1 「里浜づくり」の実践にあたって

既に述べたように、「里浜づくり」を行うことは簡単ではありません。多くの時間と人々の努力が必要です。2章で紹介した事例は、最も先進的な事例ですが、これらの多くは10年以上の年月を費やして活動を進めています。

以下、全国的な事例を中心とした分析から、「里浜づくり」のアイデアや行政に期待される取り組みを示します。これらが、すべての地域において、必ずしもこのまま、当てはまるとは限りませんが、地域の目指す方向や地域の特性・実情にあった活動の内容を検討することも「里浜づくり」においては重要な活動の一環です。

また、“里浜づくりの宣言のねらい”においては、「里浜づくり」は、1)「問題の発見」の段階、2)「目指すべき里浜像の検討」の段階、3)「里浜像を実現する手段を考え、実践する」段階の大きく3つの段階があり、段階を踏んで活動を進めることを述べています。この方法は、オーソドックスな方法ではありますが、全国の様々な事例を分析すると、その置かれた状況、運動の背景等により、このようなステップを踏んでいるものばかりではなく、その問題、目標像、実践等の規模や難易度等により、実践をしながら、問題を発見していく場合や、実践をしながら、目標を設定する等、様々な活動の順序があります。以下に示すアイデアや取り組みは、一般的に想定される取り組みの順序に基づいて記述していますが、実際の活動は、試行錯誤を繰り返し、紆余曲折を経ながら、前に進んでいくものです。

つまり、一概にこの方法が望ましいといった王道はないことから、「里浜づくり」を実践する方々は、本書を「みちしるべ」としつつも、自らの地域の独自の方法や活動内容を検討し、実施していくことが望まれます。

- (1) 「気づき」のきっかけを生かそう
- (2) 地域を学ぼう
- (3) 仲間をつくろう
- (4) 今、何をしたいか、何ができるか、考えをまとめてみよう
- (5) 目標を実現するため、行動計画をつくってみよう、施設整備計画づくりにも参加しよう
- (6) 活動してみよう、実践してみよう

なお、活動を継続するには大なり小なり資金が必要で、これが最も悩ましい課題となることも多いと思われます。資金については(5)及び資料編に参考となる情報を記載しました。